

つながる。つなげる。

#### 【特長・機能】

DICOM Storage SCU / SCP

DICOM Verification SCP

ルーティング機能 (最大4入力・4出力)

スプール機能

Transfer Syntax の自動変更

サポートする形式

- ・ Implicit VR Little Endian
- ・ Explicit VR Little Endian
- ・ Explicit VR Big Endian
- ・ JPEG Baseline
- ・ JPEG Extended
- ・ JPEG Lossless, Non-Hierarchical
- ・ JPEG Lossless, Non-Hierarchical, First-Order Prediction
- ・ RLE

webによる各種設定

属性情報の付加・変更

DICOMファイルの手動送信

リモートメンテナンス

各種のカスタマイズ

- ・ 画像フォーマットの変換
- ・ 画像ビット数の変換
- ・ パレットカラーの展開

#### 【概要】

外形寸法: 本体 W169mm×D445mm×H432mm

質量: 本体 約13.5kg\*

電源: 100V (50 / 60Hz)

消費電力: 700W 以下

内蔵メモリ: 8GB

内蔵ハードディスク: 500GB+500GB (RAID Level1)

\*このほかに、キーボード・マウス・UPSが付属します。

● アレイの製品は充実したサポートプランが用意されています。くわしくは、ご利用の販売店またはアレイまでお問い合わせください。

 Array Corporation アレイ株式会社

151-0053 東京都渋谷区代々木3-42-10 tel.03-3320-3911 fax 03-3320-3696 / sales@array.co.jp / www.array.co.jp

© 2017 Array Corporation. All right reserved. Array Corporation、Array Corporation ロゴは、アレイ株式会社の商標です。

この資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

この資料の記載内容は2018年4月現在のものです。この資料に記載された内容、製品の仕様などは予告なく変更することがあります。



DICOMルーター&コンバーターボックス

NEW

# Connecticut pro

 Array Corporation

さらに速く、わかりやすく、DICOMルーターの進化形

さまざまなDICOMデータを最適な形式に自動変換し、必要なサーバーに届ける

Connecticut pro が大きな進化を遂げました。最大で、これまでの2倍以上の大幅な送受信の高速化を実現。

動作状況を示すユーザーインターフェイスも大幅に改良されました。情報編集の方法や送り先サーバーの選択条件

などの設定はさらに高度に。複雑な運用ルールも Connecticut pro にお任せください。\*当社比

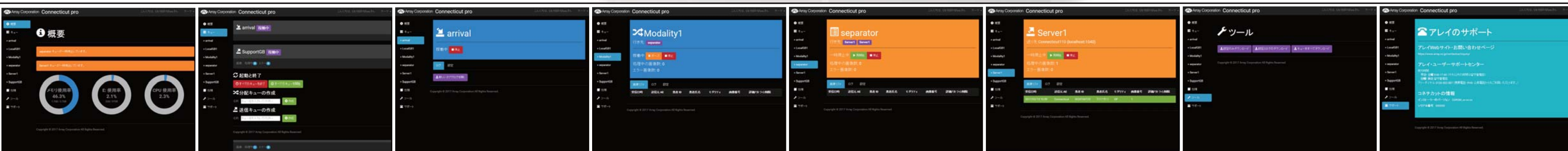
# Connecticut pro 誕生。



DICOMモダリティ



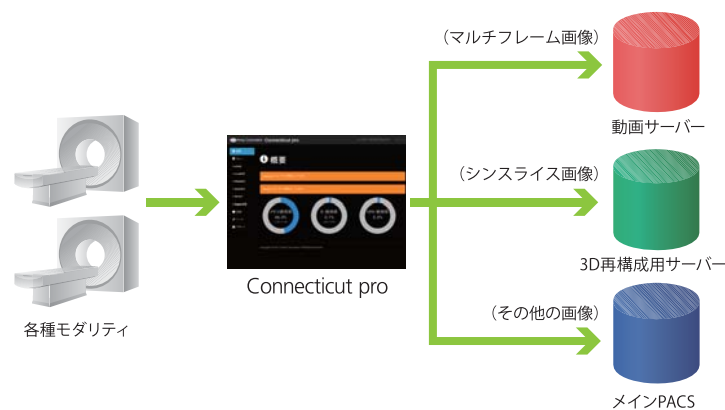
DICOMモダリティ



## 運用例 1

### DICOM情報による送信先の振り分け

Connecticut pro では、DICOM属性の内容に応じて転送先のサーバーを自動選択できます。たとえばマルチフレーム画像は動画専用サーバーに、シンスライス画像は3D再構成用サーバーに、それ以外の画像をメインPACSに送信するなど、ニーズに合わせて送信先を自由に設定できます。各サーバーとの接続が1つにできるのもメリットです。



## 運用例 2

### HIS/RISと連携して患者情報を自動修正

モダリティから送信されるDICOMデータの中の患者情報は、患者ID以外の情報が空欄のままであったり、患者名にアルファベットと2バイト文字が混在していたりなど、不完全な場合やさまざまな不整合が多く見られます。Connecticut proを使うとHIS/RIS情報とのマッチング処理によって、このような不完全な情報を完全に整合性のある情報に自動的に修正できます。数多くの施設でこの便利な機能をご利用いただいています。

